

(様式第3号)

### 平成19年度調査研究中間報告書

調査研究課題	増加する若年者の子宮頸癌とヒトパピローマウイルス (HPV) の感染実態に関する調査研究
計画期間	平成19年度～21年度 3年間
調査研究計画	<p>若年者における HPV 感染の現状を明らかにし、子宮頸癌の増加との関連について検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 共同研究機関における細胞診の結果、クラス 以上と判定された 39 歳までの症例に対して HPV-DNA の検出を試み、検出されたものについては遺伝子型別等の検査を行う。</li><li>2 精密検査の結果、CIN 又は浸潤癌が認められ、かつ high-risk 型 HPV が検出された症例については、病変部位の遺伝子解析等を行う。</li></ol> <p>試料 子宮頸部擦過物、切除された病変組織 HPV-DNA 検査実施予定件数 400 件</p>
進捗状況	平成19年7月20日に茨城県疫学研究合同倫理審査委員会の承認が得られたため、準備が整い次第、調査を開始する予定である。
これまでの成果の概要	
今後の計画・課題対応方法	<p>今後の計画</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 HPV の自然史を知るため及び対照とするために、細胞診クラス の症例についても HPV 検査を行う。</li><li>2 検査件数については、予算の範囲内で増やす。</li></ol>